

平成26年12月16日

川崎市議会議長 浅野文直様

多摩区

多摩建友会

川崎市発注における工事の入札制度に関する請願

請願の要旨

- 1 発注時における地域性重視（区単位）
- 2 建設工事発注時における図面の無償化
- 3 工事単価の引上げ
- 4 発注時期の平準化

請願の理由

- 1 発注時における地域性重視（区単位）

災害が発生した有事の際には工事車両・建設機械を所有する我々は、地域の災害救助、災害復旧に参加しております。しかしながら、現在の発注方法では、実際に地域貢献させていただいている多摩建友会の業者と営利目的のみで会社運営している業者と関係なく仕事が発注されております。現行のシステムが継続されると、大規模災害が頻発している昨今、地域貢献が可能な業者の存続が危ぶまれます。

他地区でも実施されているような「いのち貢献度指名競争入札」などのように、地域に対して貢献している業者にインセンティブ発注できるような入札制度改革をお願いいたします。具体的には地域貢献している業者への指名件数の増加、指名金額の上限の引上げなどの施策を実施してください。

2 建設工事発注時における図面の無償化

以前よりお願い申し上げている件ではございますが、現在でもいまだ局発注工事を中心に図面が有償となっており、業者の負担率が高いものとなっております。某業者においては、年間100万円以上の図面購入費用となっております。全国を見渡しても、本市以外の行政区において、図面の無償化が当たり前の昨今、なぜ政令指定都市の中で、最先端である本市が実施していないのでしょうか。直ちに図面の無償化への対応をお願いいたします。

3 工事単価の引上げ

工事設計金額の最低制限価格において、現場管理費、共通仮設費、一般管理費の最低金額率を上げていただいておりますが、直接工事費内の工事価格の引上げをお願いいたします。

昔から言われていることではありますが、各材料の単価は大手ゼネコンのように取引数量が多く、また企業体力が強い大手企業が購入可能な安価な単価が大半を占めています。それを基に定められた工事単価では、材料を使うほど赤字になり、経費から持ち出す工種が多数です。現状として、建設関係の労働者不足、燃料高騰、運転手と運搬車不足による運搬費高騰、消費税アップによる便乗値上げなどを中小企業の企業努力で何とか現状を維持している状況です。

このままでは、技術継承、設備投資はおろか雇用の確保もままならず、災害発生時の地元貢献すらままならなくなりますので、早期の御対応をよろしくをお願いします。

4 発注時期の平準化

公共事業においては建設工事に限らず、全ては行政の予算執行の流れに準じますので、年度末には発注者側も受注者側も、ばくだいな仕事量をこなして、なんとか年度内に仕事を納めてきた経緯があります。

建設業者におきましては、足りない人手を応援の業者、一人親方に頼ってきましたが、昨今の入札の不調を見ても明らかなように、工事単価以前の問題として、人手不足による不調が顕在化しているように、もう既に限界を迎えております。

繁忙期に合わせて雇用を拡大すると、閑散期に過剰になってしまう労務費

によって、会社が傾きます。工事発注の平準化によるメリットは計り知れず、事業の見通しが立てやすく、雇用・設備投資の促進、丁寧な仕事による品質向上、次世代の人材育成、経営の安定につながります。発注者側の新年度の人事異動による引継ぎの手間以外のデメリットは存在しないと考えます。このメリットを実現するための発注コストの増額はありません。早期の実現をお願いいたします。

紹介議員

石	田	康	博
菅	原		進
露	木	明	美
井	口	真	美
小	川	顕	正
粕	谷	葉	子
小	田	理恵子	
三	宅	隆	介
猪	股	美	恵
月	本	琢	也
為	谷	義	隆